

# 平成30年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」 活動推進実践報告書

## 1 学校の概要

### (1) 学校名

埼玉県立伊奈学園中学校

### (2) 学級数 (平成30年5月1日付け)

1-1 (男11人 女29人)      1-2 (男11人 女29人)

2-1 (男10人 女30人)      2-2 (男10人 女30人)

3-1 (男10人 女30人)      3-2 (男11人 女29人)

計 6学級 240名 教職員数 17名

### (3) 生徒数 (同上)

### (4) 教職員数 (同上)

## 2 「私たちのネット利用ルール」づくりについて

### (1) 取組内容 (決定までのプロセス)

8月20日(月)に開催された合同ワークショップにおいて、同年代の中学生と意見交換したものをもとに、ルール作りをはじめ、2学期の初めから、昼休みや放課後を活用し、本校に適したネット利用ルールはどのようなものか話し合いました。

その後、『私たちのネット利用ルール』づくりアンバサダー(以後、アンバサダー)がネット利用ルールの基本となる2案を全校生徒に提示し、意見を募りました。そして、全校生徒からの意見を集約し、アンバサダーの案と統合することで、本校独自のルールが作られました。

### (2) 全校への周知の方法

- ・月に1回程度生徒たちが運営している生徒朝会で発表。
- ・活動報告とネット利用ルールを載せたA3プリント(アンバサダー作成)を全校生徒に配布。
- ・校内のパーティションボードを活用し、模造紙で作成したネット利用ルールを掲示。



### (3) 私たちのネット利用ルール

**い**いサイトは <https> (httpsは安全なサイトです)

→インターネットのホームページのURLの先頭には「http」と「https」の2つがあります。この「s」が付いているか付いていないかが大きな違いなのです。この「s」は「Secure(セキュア)」という「危険のない、安全な」という意味が込められています。「s」の付いていない「http」のホームページにアクセスすると、あなたの情報が勝手に抜き取られてしまう可能性があるのです。ホームページを閲覧する際にはチェックしましょう。

**な**つとくさせるには SNS には頼らない（大切な用事は直接言いましょう）

→SNS でのやり取りは、非常に便利なものです。しかし、お互いの顔が見えないため、思わぬ誤解を生んでしまう場合があります。どんなに忙しくても、大切な用事は面と向かって言いましょう。

**が**っこう外でも軽率な発言をしない（軽率な発言はとにかくやめましょう！）

→上の「な」と似ていますが、誰も見ていないと思ってインターネット上で軽率な発言をすると、それが火種となって、思わぬトラブルを生んでしまう可能性があります。むやみにインターネット上で発言するのはやめましょう。

**く**るな写真も許可を取ろう（どんなにいい写真でも、相手に許可を取りましょう）

→最近、携帯やスマートフォンで写真を撮る機会が増えています。素敵な写真が撮れると、みんなに見せたくなくて SNS に上げたくくなりますよね。しかし、写真に写っている背景や服装から個人情報や情報が漏れ、その情報を悪用する人達がいるかもしれないかもしれません。一緒に写っている人達に許可を取るのはもちろんのこと、自分の個人情報や情報が漏れないかも注意しましょう。

### 3 活動推進校独自の取組（広報活動）について

#### （1）活動内容

校内のパーティションボードを活用し、模造紙で作成したネット利用ルールを掲示することで、授業参観時の保護者や研究授業時の他校の教員に公表した。

#### （2）実施期間

H30 11月～12月

#### （3）その他

特になし。



### 4 活動の成果と課題

#### （1）成果

全校生徒の意見を募ったことから、自分たちの手で作ったルールとして受け入れることが出来ていた。また、アンバサダーが作成したプリントを配布したこともあり、全校生徒にルールが認知されていた。1学年では、学級委員が中心となって学年のネット利用ルールを作成するなど、影響力があったと考えられる。

#### （2）課題

ルールについてどう考えているか、どの程度ルールを守っているか等のアンケートを実施していなかったため、具体的な結果を得られていない。